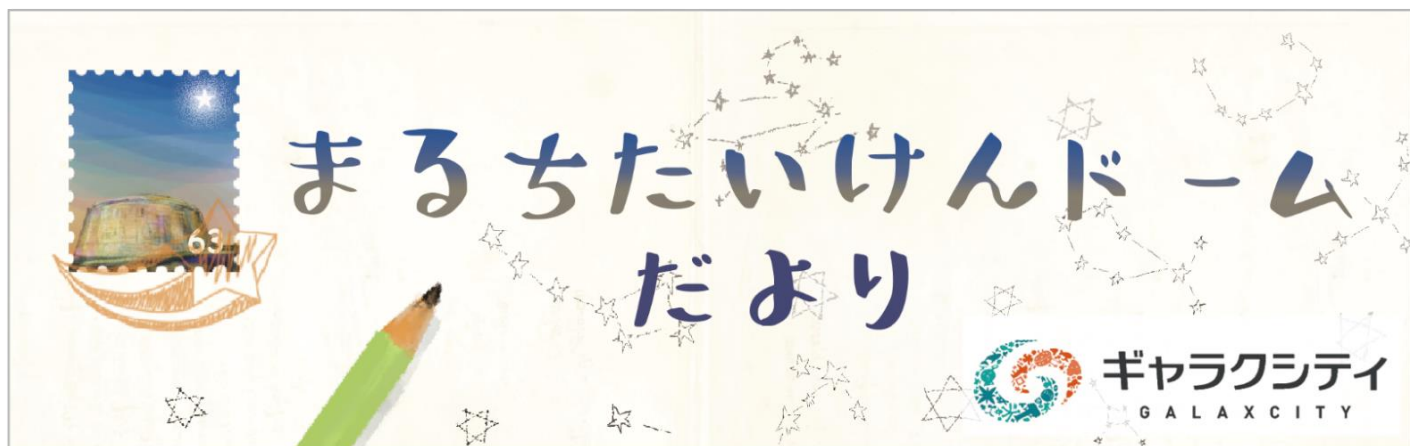




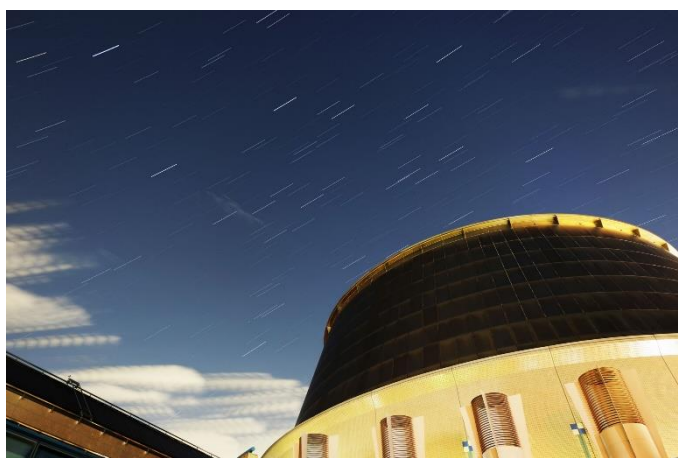
天体写真を写してみよう

前に「都会での天体写真撮影」と都会で天体の写真をとるのはたいへんというお話をしました。たしかに星雲などの^{あわ}淡い天体は撮影がむづかしいのですが、明るい星であれば意外と手軽に撮ることができます。

右の写真は、ギャラクシティの^{しょくいん}職員のお子さんがスマートフォンを手持ちで撮った写真です。空が暗いところ(栃木県那須塩原市)で撮ったのだそうですが、オリオン座の星がはっきりと写っています。スマートフォンを明るい^{せいざ}星座にかざすだけで意外と簡単に星を写す事ができるのですね。



さらにマニュアル撮影ができるデジタルカメラだと、都会でも星の動きの軌跡^{きせき}を撮ることもできます。下の写真は^{わたし}私が、ギャラクシティのチャレンジコートから撮った秋の星座ペガサス座です。こういった写真を撮るには、露出時間を 30 秒くらいにして、まず試し撮りします。OK だったらそのままカメラを三脚などに固定して、同じ露出で 60 枚とか 100 枚とかたくさん撮ります。それを「比較明合成」という手法で合成すると出来上がります。比較明合成ができるソフトとして「SiriusComp」(シリウスコンプ)というフリーソフトが有名です。最近のデジタルカメラにはこの比較明合成の機能^{きのう}をもったものも出てきています。



チャレンジコートから秋の星座

撮影: 足田純之

スマートフォンで撮ったオリオン座

比較明合成^{ひかくめいごうせい}ができるソフトとして「SiriusComp」(シリウスコンプ)というフリーソフトが有名です。最近のデジタルカメラにはこの比較明合成の機能^{きのう}をもったものも出てきています。

(解説員: 足田 純之)